立命館大学大学院

大学教員準備セミナー

Preparing Future Faculty (PFF)

2022年度募集要項

お問合せ先

立命館大学大学院課（衣笠）

TEL　075-465-8195

E-mail l-hba@st.ritsumei.ac.jp

プログラム概要

Preparing Future Faculty（以下、PFF）は、大学教員を目指す博士課程後期課程の大学院生、研修生・研究生、ならびに専門研究員を対象に大学で教えるために必要な基礎的スキルを養成するプログラムです。

大学における教育は、決められた時間の中で、何をどのように教え、またそれらが定着したかどうかを適正に評価することが求められます。学生の学びの質を高めるのは、教員の教え方や方法に依存します。近年では、学びを促進するための一教育方法として、アクティブラーニングの手法にも注目が集まっているなど、授業の構成要因は様々です。教育方法に限らず、シラバスの段階で綿密な授業設計を練り、授業毎に適切な到達目標を設定すること、そして到達目標に沿った評価軸が求められます。

これらの知識や技術は、一長一短で身につくものではないため、教員として着任する以前からそのスキルを伸ばしていくことが大切です。また、教員公募に応募する際には、簡易シラバスの提出や模擬授業の実施が求められることが多くなってきています。教授法を学んでおくことは、研究業績に加えて就職時にも大きな武器となるでしょう。同じキャリアを志す者が集まり、お互いを切磋琢磨する貴重な機会にもなりえます。少しでも興味を持った方は、是非受講をおすすめします。

到達目標

・大学教員の役割や仕事内容を理解し、大学教員に求められる能力を実践的に学ぶ。
・高等教育全体を省察する。
・自身とは異なる分野の研究を知る。

使用言語

日本語

プログラム担当講師

教育開発推進機構　蒲生　諒太

受講対象者

将来の進路として大学教員を希望している以下の者を対象とする。専門分野は問わない。
・本学大学院博士課程後期課程（一貫制博士課程 3 回生以上、4 年制博士課程）に在籍する大学院生
・研修生および研究生　・専門研究員　・日本学術振興会特別研究員 DC,PD 採択者
※修士課程、博士課程前期課程に在学する方でも、非常勤講師などの経験をお持ちの方や大学教員を強く志す方であれば申し込み可能です。

申し込み方法

募集期間：2022 年 10 月 31 日（月）～2022 年 11 月 10 日（木）　12:00 まで
応募方法：下記 URL より申し込みしてください。
URL：http://www.ritsumei.ac.jp/ru_gr/g-career/program/list/article.html/?id=243

参加定員

20 名

＜プログラムスケジュール＞

10 月 31 日（月）～11 月 10 日（木）	参加申込受付期間
11 月 14 日（月）～11 月 25 日（金）	VOD（Video On Demand）受講 ①現代の高等教育 ②大学におけるミクロ・マクロレベルでのＦＤ活用 ③授業の到達目標の書き方 ④成績評価の方法 ⑤コース・ポートフォリオ
11 月 28 日（月）13:00 まで	オンデマンド講義を受けた感想（400 文字以内）を manaba＋R にて提出（※） ※本プログラムに申し込んだ方を対象に manaba＋R 上の PFF のコースに追加します。
11 月 30 日（水）16:30-18:00 （コア：17:30 まで。以降は任意）	日本の大学事情 ＊説明は動画で懇談会形式（動画は 30 分）
12 月 7 日（水）16:30-18:00 （コア：17:30 まで。以降は任意）	大学教授職のキャリアプラン ＊説明は動画で懇談会形式（動画は 30 分）
12 月 14 日（水）16:30-18:00 （コア：17:30 まで。以降は任意）	教授方法について
12 月 21 日（水）16:30-19:30	マイクロティーチングの実践

プログラム内容

１．ＶＯＤ（Video On Demand）の受講

manaba＋R より、様々な映像コンテンツを視聴することができます。ワークショップの前に下記の５つを視聴してください。VOD のオンデマンド講義を受けた感想（400 文字以内）を manaba＋R にて提出していただきます。詳細は改めて、参加者の方にご案内いたします。

【VOD】

	テーマ	到達目標	実践的 FD 対応ｺﾝﾃﾝﾂ	講師
1	現代の高等教育	・日本及び世界の高等教育の状勢を説明できる。（知識） ・自らの大学の置かれた立場と今後の対応を考えることができる。（知識）	VOD「高等教育論Ⅰ」	金子　元久
2	大学におけるミクロ・マクロレベルでの FD 活動	・大学におけるミクロレベル（授業・教授法の開発）の FD 活動の事例を説明できる。（知識） ・大学におけるミドルレベル（カリキュラムやプログラム開発）の FD 活動の事例を説明できる。（知識） ・自らの大学におけるミクロ・ミドルレベルの FD 活動を批評できる。（知識） ・自らの大学におけるミクロ・ミドルレベルの FD 活動を積極的に改善・推進しようとする意欲を持つ。（態度）	VOD「ＦＤ概論Ⅰ」	佐藤　浩章
3	授業の到達目標の書き方	・カリキュラムや授業の設計において、学習成果を明確にし、適切な到達目標を設定することができる。 ・高等教育に求められる内部質保証を設定することができる。	VOD「到達目標の書き方」	沖　裕貴

4	成績評価の方法	・授業の到達目標に沿って適切な評価方法（評価手段）を選択し、その評価指標と評価方法を設定できる（思考・判断・評価）。 ・自らの授業の成績評価に関して、学習者にフィードバックを心がける（関心・意欲・態度）。	VOD「成績評価の方法」	沖　裕貴
5	コース・ポートフォリオ	・１つの科目（コース）のシラバス教材、授業運営記録、評価アンケートの結果など、自分の教育活動の根拠となる資料を用いて、コース・ポートフォリオを作成することができる（技能）。 ・授業改善のためコース・ポートフォリオを積極的に活用する（態度）。	VOD「コース・ポートフォリオ」	鳥居　朋子

２．ワークショップ

日時：　11 月 30 日（水）～12 月 21 日（水）の毎週水曜日　16:30-18:00
　　最終日の 12 月 21 日（水）のみ、16:30-19:30

会場：Zoom によるオンラインセッション

【プログラム内容】

日程	プログラム内容	到達目標
11/30(水) 16:30～18:00	現代の大学事情	・現在の日本の大学がおかれる時代状況を理解することができる。 ・高等学校(の授業)をはじめとする学校教育について理解を深めることができる。 ・高大接続改革を含めた教育改革の観点から学びの転換を図り、大学の授業づくりの要諦を理解することができる。
12/7(水) 16:30～18:00	大学教授職のキャリアプラン	・現代の大学事情を踏まえた大学教員のキャリアプランを理解することができる。 ・大学教員のキャリアプランの中で「教えるリアリティ」がどのようなあり方をしているのか、説明することができる。

12/14(水) 16:30～18:00	教授方法について	・大学における教授法の体系的な知識と技能を修得する。 ・アクティブ・ラーニングの活用方法を修得する。 ・学生を動機づけ、学びに向かわせる方法を考えることができる。
12/21(水) 16:30～19:30	マイクロティーチング実践	・授業プランをデザインできる。 ・授業プランに基づいた授業を実施できる（模擬授業）。 ・模擬授業を評価する。
	修了式 （まとめ・ふりかえり）	オンデマンドの受講を含む全てのプログラムを受講したものに対して本セミナーの修了証（PDF）を発行します。修了証は後日メールにて送付します。

2021 年度プログラム受講生の声～受講生アンケートからの抜粋～

・大学の授業の作り方の基本が理解出来ました。

・学生さんと接する時の先生の気持ち、気の持ち方が理解出来ました。

・どの講義も今後の参考になりました。参加してよかったです。